



沖縄地区税関 管内貿易概況(速報)

令和6年1月分

(増減・伸率は対前年同月比)

●今月のポイント

●輸出

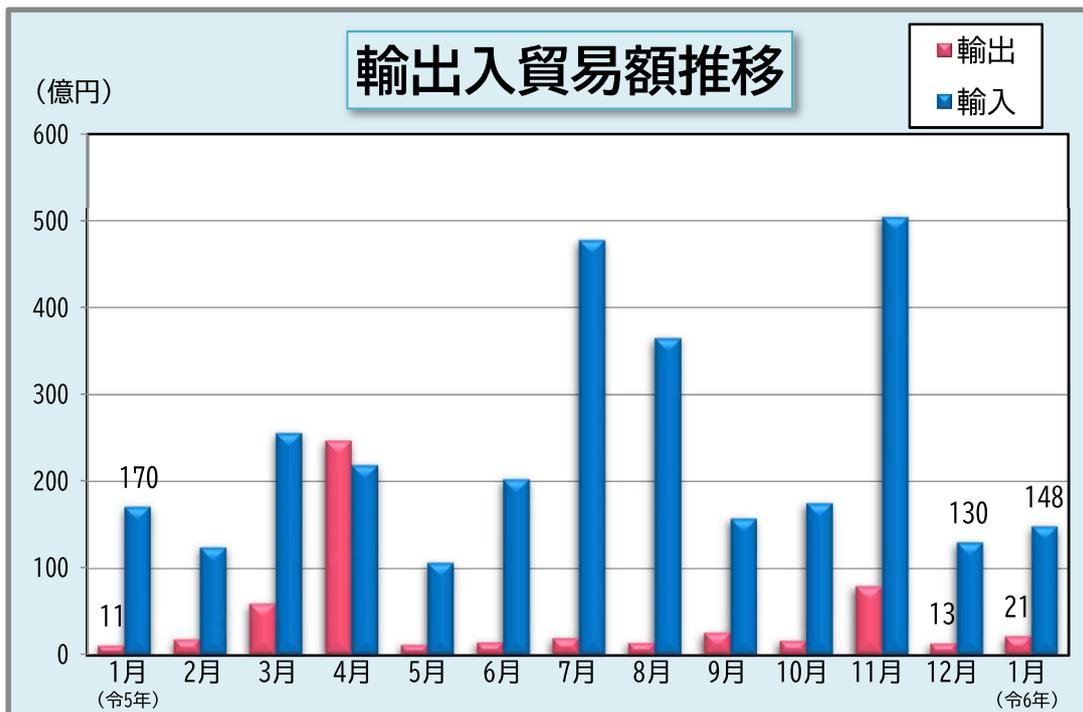
- ・輸出総額は21億38百万円、対前年同月比2.0倍(9カ月ぶりの増加)
- ・主な増加品目は「金属鉱及びくず」(3.6倍)、「再輸出品」(21.0倍)、「一般機械」(28.0%)
(主な減少品目は「鉄鋼」(▲94.1%)、「加工油脂及びろう」(▲67.4%)、「肉類及び同調製品」(▲47.4%))
- ・国(地域)別構成比は台湾(21.3%)、シンガポール(21.1%)、ベトナム(18.2%)、アメリカ(11.1%)、韓国(5.6%)

●輸入

- ・輸入総額は147億88百万円、対前年同月比13.2%減(2カ月連続の減少)
- ・主な減少品目は「輸送用機器」(▲98.8%)、「石炭」(▲12.2%)、「果実及び野菜」(▲34.7%)
(主な増加品目は「石油製品」(20.6%)、「一般機械」(2.0倍)、「肉類及び同調製品」(34.8%))
- ・国(地域)別構成比はアメリカ(18.5%)、オーストラリア(17.6%)、韓国(16.4%)、中国(11.5%)、タイ(6.3%)

●差引

- ・差引額は126億50百万円の入超(前年同月は159億69百万円の入超)



1. 輸出動向

(1) 主要品目別動向

品名（金額・伸率）	構成比	主要国（地域）（金額・伸率）
1 金属鋳及びびくず （6億42百万円、3.6倍）	30.0%	ベトナム（3億48百万円、全増） 台湾（1億77百万円、11.4倍）
2 再輸出品 （4億58百万円、21.0倍）	21.4%	シンガポール（2億37百万円、全増） アメリカ（2億円、256.8倍）
3 一般機械 （3億96百万円、28.0%）	18.5%	シンガポール（1億45百万円、全増） 台湾（1億1百万円、2.1倍）
4 飲料 （1億73百万円、55.8%）	8.1%	オーストラリア（51百万円、14.2倍） 台湾（28百万円、▲19.7%）
5 パルプ及び古紙 （1億61百万円、29.3%）	7.5%	台湾（88百万円、7.1%） ベトナム（26百万円、6.1倍）
<p>増加品目（増加額・伸率） 主な増加国（地域）</p> <p>1 金属鋳及びびくず（+4億61百万円、3.6倍） ベトナム、台湾</p> <hr/> <p>2 再輸出品（+4億36百万円、21.0倍） シンガポール、アメリカ</p> <hr/> <p>3 一般機械（+87百万円、28.0%） シンガポール、台湾</p> <hr/> <p>減少品目（減少額・伸率） 主な減少国（地域）</p> <p>1 鉄鋼（▲32百万円、▲94.1%） ミャンマー</p> <hr/> <p>2 加工油脂及びびろう（▲31百万円、▲67.4%） 韓国</p> <hr/> <p>3 肉類及び同調製品（▲23百万円、▲47.4%） 香港</p> <hr/>		

(2) 主要国（地域）別動向

国（地域）名（金額・伸率）	構成比	主要品目（金額・伸率）
1 台湾 （4億55百万円、2.1倍）	21.3%	金属鋳及びびくず（1億77百万円、11.4倍） 一般機械（1億1百万円、2.1倍）
2 シンガポール （4億50百万円、15.8倍）	21.1%	再輸出品（2億37百万円、全増） 一般機械（1億45百万円、全増）
3 ベトナム （3億90百万円、37.6倍）	18.2%	金属鋳及びびくず（3億48百万円、全増） パルプ及び古紙（26百万円、6.1倍）
4 アメリカ （2億37百万円、78.7%）	11.1%	再輸出品（2億円、256.8倍） 飲料（23百万円、▲50.0%）
5 韓国 （1億20百万円、▲54.1%）	5.6%	金属鋳及びびくず（70百万円、▲54.0%） パルプ及び古紙（22百万円、1.0%）

2. 輸入動向

(1) 主要品目別動向

品名（金額・伸率）		構成比	主要国（地域）（金額・伸率）
1	石炭 （44億32百万円、▲12.2%）	30.0%	オーストラリア（25億26百万円、▲50.0%） アメリカ（14億86百万円、全増）
2	石油製品 （22億64百万円、20.6%）	15.3%	韓国（22億60百万円、282.1倍）
3	肉類及び同調製品 （11億26百万円、34.8%）	7.6%	デンマーク（2億94百万円、3.0倍） ブラジル（2億36百万円、21.8%）
4	穀物及び同調製品 （9億65百万円、32.2%）	6.5%	タイ（7億47百万円、49.4%） アメリカ（1億26百万円、37.4%）
5	その他の動植物性原材料 （7億5百万円、19.1%）	4.8%	インドネシア（6億63百万円、18.5%） 台湾（27百万円、38.7%）
増加品目（増加額・伸率）			主な増加国（地域）
1 石油製品（+3億87百万円、20.6%）			韓国
2 一般機械（+3億16百万円、2.0倍）			アメリカ、中国
3 肉類及び同調製品（+2億90百万円、34.8%）			デンマーク、アメリカ
減少品目（減少額・伸率）			主な減少国（地域）
1 輸送用機器（▲30億29百万円、▲98.8%）			フランス、中国
2 石炭（▲6億17百万円、▲12.2%）			オーストラリア
3 果実及び野菜（▲2億4百万円、▲34.7%）			アメリカ、カナダ

(2) 主要国（地域）別動向

国（地域）名（金額・伸率）	構成比	主要品目（金額・伸率）
1 アメリカ （27億40百万円、2.5倍）	18.5%	石炭（14億86百万円、全増） 一般機械（3億34百万円、4.4倍）
2 オーストラリア （26億8百万円、▲50.4%）	17.6%	石炭（25億26百万円、▲50.0%） 非鉄金属（30百万円、34.0%）
3 韓国 （24億22百万円、12.9倍）	16.4%	石油製品（22億60百万円、282.1倍） 電気機器（35百万円、2.6倍）
4 中国 （16億94百万円、▲49.5%）	11.5%	家具（2億37百万円、50.2%） 非金属鉱物製品（2億36百万円、32.6%）
5 タイ （9億37百万円、36.6%）	6.3%	穀物及び同調製品（7億47百万円、49.4%） 肉類及び同調製品（1億3百万円、25.5%）

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。
《ホームページアドレス <https://www.customs.go.jp/>》
 - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
 - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査部 調査統計課
沖縄県那覇市港町2-11-1 那覇港湾合同庁舎3階
TEL. 098-862-9650

